



---

モバイル開発における  
**データストアの選び方**

Takayuki Shimizu

Solutions Architect, Amazon Data Services Japan, K.K.

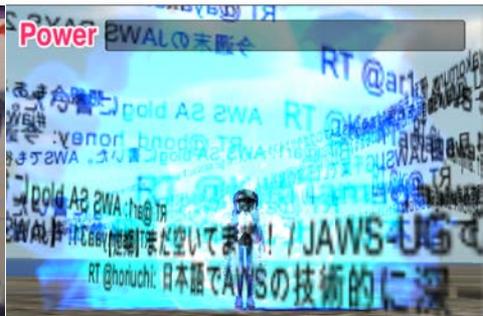
AWS Summit Tokyo 2015 - Developer Conference - 2015. 6. 3



# 自己紹介

## 清水 崇之

- アマゾン データ サービス ジャパン 株式会社
  - ソリューション アーキテクト
- 西日本担当 (大阪のお客様にもプライム対応! だけどプライスレス)
- ゲーム、モバイル、Web サービス全般
- AWS 芸人 (詳しくは [http://www.slideshare.net/shimy\\_net](http://www.slideshare.net/shimy_net))



# アジェンダ

## Agenda

- AWS Mobile サービスの紹介
  - サービスの概要
  - AWS Mobile SDK
  - モバイルサービスと 2-Tier アーキテクチャ
- データストアの選び方
  - Amazon Cognito Sync
  - Amazon DynamoDB
  - Amazon S3
  - Amazon Kinesis
- まとめ

# アジェンダ

- AWS Mobile サービスの紹介
  - サービスの概要
  - AWS Mobile SDK
  - モバイルサービスと 2-Tier アーキテクチャ
- データストアの選び方
  - Amazon Cognito Sync
  - Amazon DynamoDB
  - Amazon S3
  - Amazon Kinesis
- まとめ

# AWS Mobile サービス

あなたのモバイルアプリ



ゲームアプリ



ユーティリティアプリ



家計簿アプリ



クーポンアプリ

AWS Mobile SDK



AWS SDK for Android



AWS SDK for iOS



AWS SDK for Unity

モバイルに最適化されたサービス



Amazon Cognito



Amazon Mobile Analytics



Amazon SNS Mobile Push



Lambda Functions

モバイルに最適化されたコネクタ



Kinesis



DynamoDB



S3



SQS



SES



Lambda

コアとなるサービス群

ストレージ

ネットワーク

データベース

分析

コンピューート

グローバルインフラ

# AWS Mobile サービス

あなたのモバイルアプリ



ゲームアプリ



ユーティリティアプリ



家計簿アプリ



クーポンアプリ

バックエンドサーバーなしで実行できるステートレスなクラウド関数

ユーザーアイデンティティ  
データ同期



アナリティクス  
レポート



プッシュ通知



モバイルに最適化されたサービス



Amazon Cognito



Amazon Mobile Analytics



Amazon SNS Mobile Push



Lambda Functions

モバイルに最適化されたコネクタ



Kinesis



DynamoDB



S3



SQS



SES



Lambda

コアとなるサービス群

断続的なネットワーク  
コネクションを処理できるレコーダー

ストレージ

NoSQLデータベース

ネットワーク

コンテンツのアップロード、ダウンロード

データベース

分散キュー

分析

Eメール

コンピューティング

# AWS Mobile サービス

あなたのモバイルアプリ



ゲームアプリ



ユーティリティアプリ



家計簿アプリ



クーポンアプリ

AWS Mobile SDK



AWS SDK for Android



AWS SDK for iOS



AWS SDK for Unity

モバイルに最適化されたサービス



Amazon Cognito



Amazon Mobile Analytics



Amazon SNS Mobile Push



Lambda Functions

モバイルプラットフォームに合わせて  
AWS SDK を利用

モバイルに最適化されたコネクタ



Kinesis



DynamoDB



S3



SQS



SES



Lambda

コアとなるサービス群

ストレージ

ネットワーク

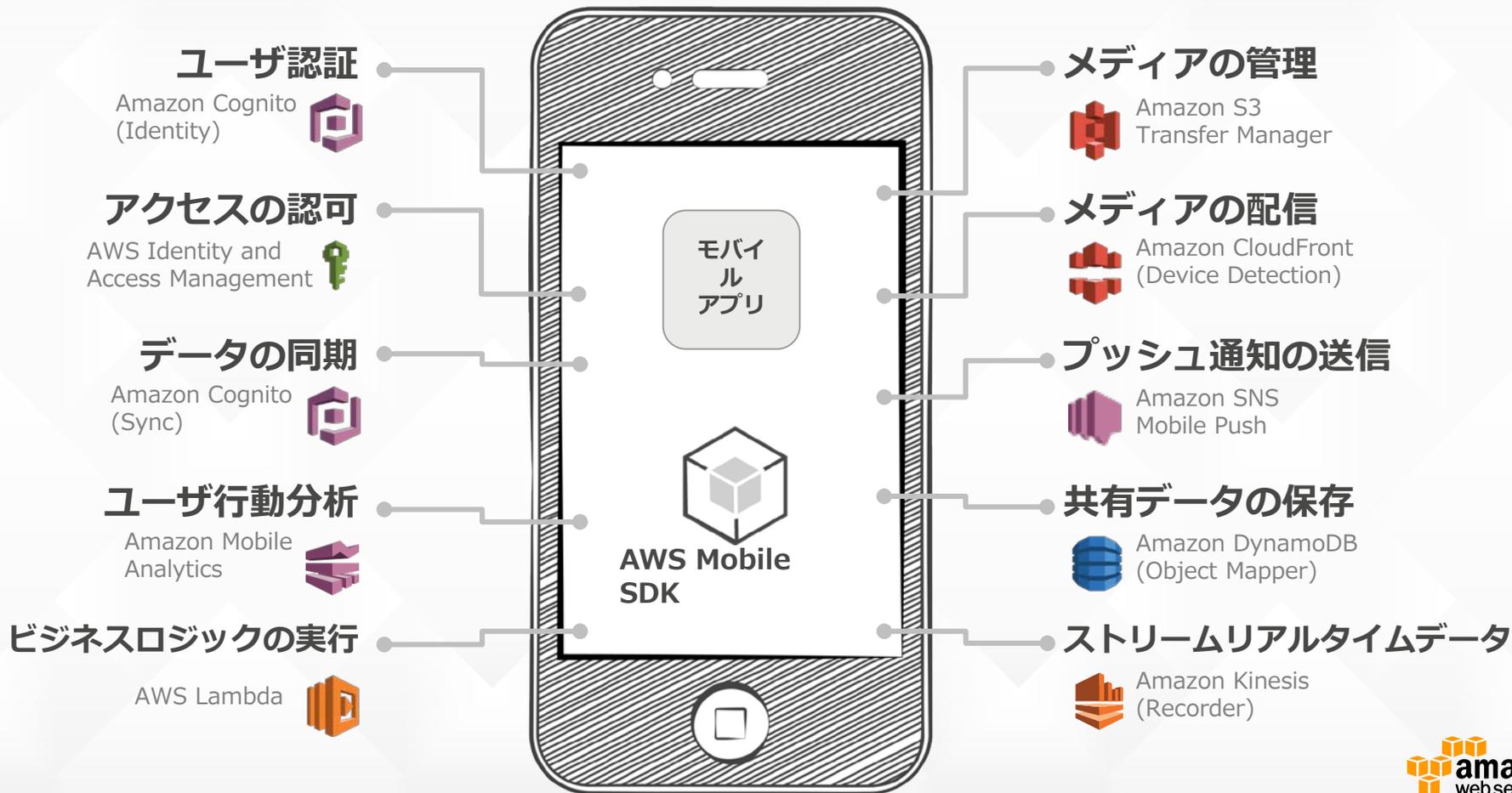
データベース

分析

コンピューート

グローバルインフラ

# モバイルアプリの課題を AWS サービスで解決



# モバイルアプリの課題を AWS サービスで解決



# アジェンダ

- AWS Mobile サービスの紹介
  - サービスの概要
  - **AWS Mobile SDK**
  - モバイルサービスと 2-Tier アーキテクチャ
- データストアの選び方
  - Amazon Cognito Sync
  - Amazon DynamoDB
  - Amazon S3
  - Amazon Kinesis
- まとめ

# AWS Mobile SDK

## クロスプラットフォーム

- Android, Fire OS, iOS, Unity をサポート



## 共通の認証

- Amazon Cognito により認証機構を迅速に導入可能

## ネットワーク状態を自動でハンドリング

- 例：ローカルキャッシュによりオフラインでも利用可能

## メモリフットプリントの削減

- 導入するパッケージをサービス単位で選択可能

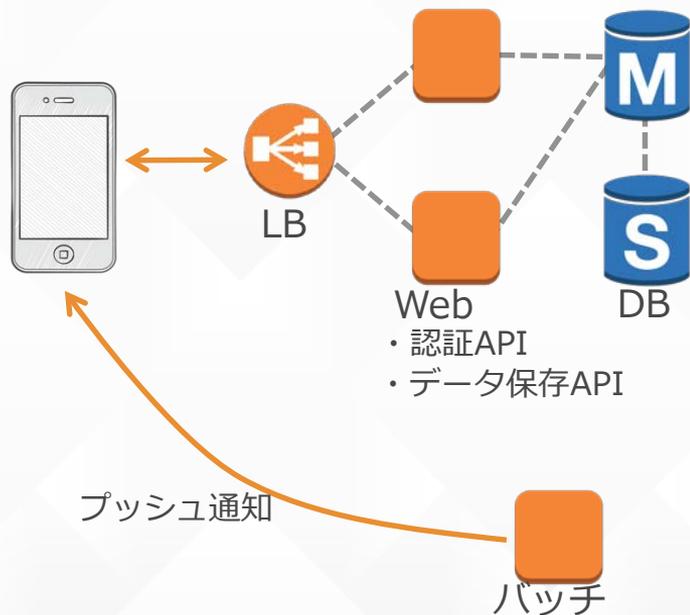
# アジェンダ

- AWS Mobile サービスの紹介
  - サービスの概要
  - AWS Mobile SDK
  - **モバイルサービスと 2-Tier アーキテクチャ**
- データストアの選び方
  - Amazon Cognito Sync
  - Amazon DynamoDB
  - Amazon S3
  - Amazon Kinesis
- まとめ

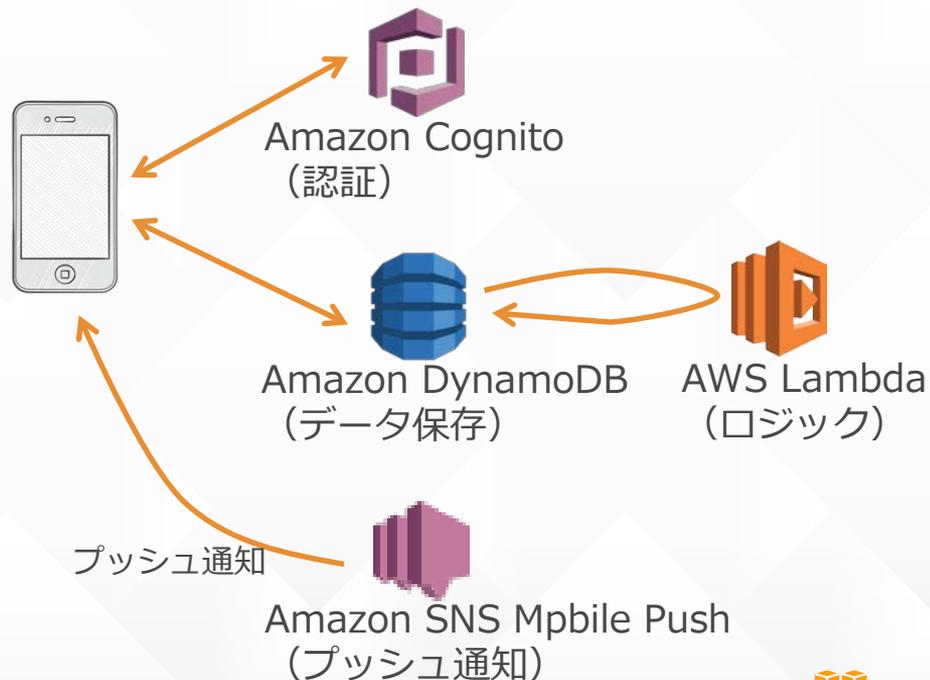
## 2-Tier アーキテクチャとは？

仮想サーバー(EC2)を利用せずに、クライアントから直接 AWS のサービスを利用する。

### 従来 アーキテクチャ



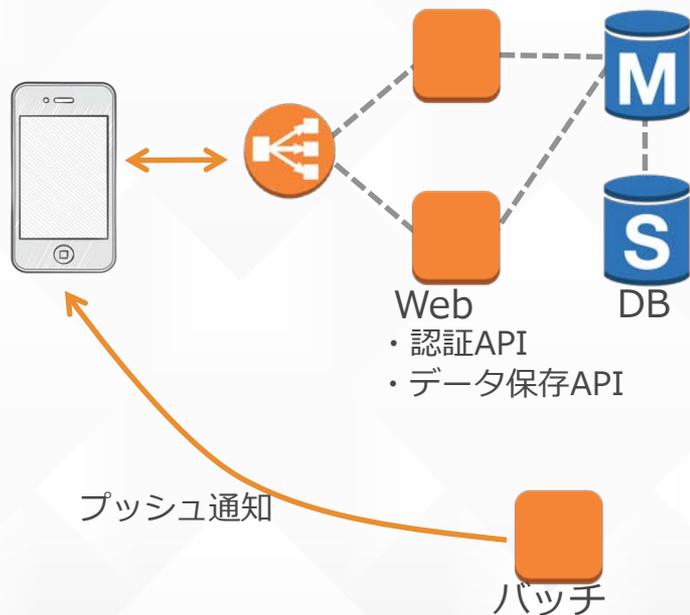
### 2-Tier アーキテクチャ



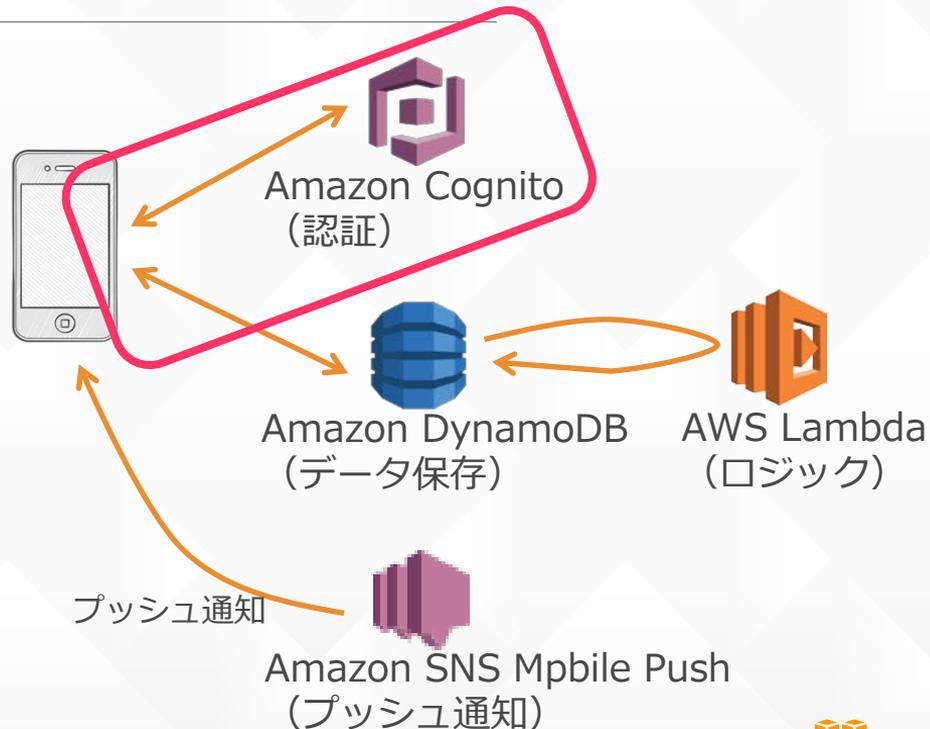
## 2-Tier アーキテクチャとは？

仮想サーバー(EC2)を利用せずに、クライアントから直接 AWS のサービスを利用する。

### 従来 アーキテクチャ



### 2-Tier アーキテクチャ



# Amazon Cognito Identity

## 複数の ID プロバイダ

ID プロバイダと簡単に連携して認証  
Amazon, Facebook, Twitter, Google,  
OpenID Connect などに対応

## ゲストユーザアクセス

アカウント作成やログインを必要とせず、セキュアに AWS サービスを利用でき、アプリの特徴を損なわない。

## 独自認証システム

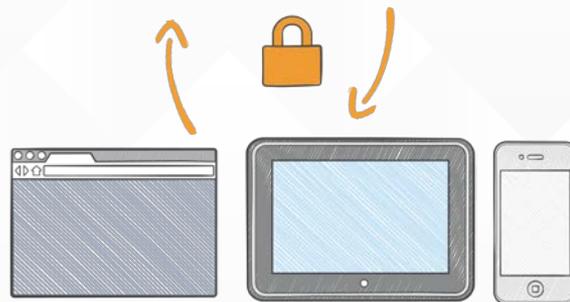
ID プロバイダによる認証ではなく  
独自の Username と Password で認証



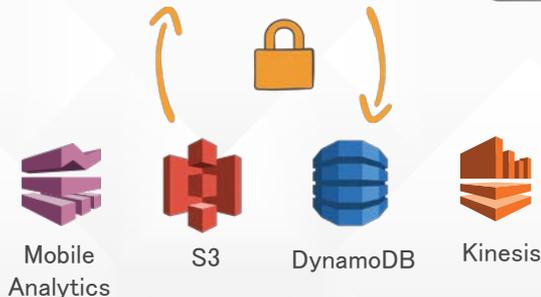
ユニーク ID



ID プロバイダ  
ゲストアクセス  
独自認証システム



デバイス  
プラットフォーム



AWS サービス

# Amazon Cognito Identity

## Cognito による認証のフロー

ID プロバイダや独自認証システムと連携して認証することで、任意のポリシーを持った一時的なクレデンシャルが発行され、AWS リソースを利用する。



# セキュリティ

## AWS Credentials の保護

必要な権限だけを付与された一時的なクレデンシャルを取得できるので、アプリにクレデンシャルを埋め込まなくてよい

## セキュリティのベストプラクティスを支援

セキュリティトークンサービスと連携したり、トークンベンディングマシンを構築する必要はない  
セキュアに AWS サービスを利用

## 細やかなアクセス制御

IAM との連携で AWS リソースへの細やかなアクセス制御を実現

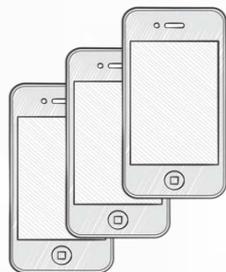


	Get	Delete	Put
S3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
DynamoDB	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

# アジェンダ

- AWS Mobile サービスの紹介
  - サービスの概要
  - AWS Mobile SDK
  - モバイルサービスと 2-Tier アーキテクチャ
- **データストアの選び方**
  - Amazon Cognito Sync
  - Amazon DynamoDB
  - Amazon S3
  - Amazon Kinesis
- まとめ

# 4 つの AWS データストア



モバイル



Cognito Sync

Cognito Identity との密な連携  
シンプルなテキストデータの保存



DynamoDB Mapper

複雑な構造、検索が必要なテキスト  
データの保存



S3 Transfer Manager

メディア・コンテンツなどのサイズの  
大きいデータの保存



Kinesis Recorder

アプリ内で頻繁に発生するユーザー行  
動イベントなど、ストリーミングデー  
タの保存

# アジェンダ

## Agenda

- AWS Mobile サービスの紹介
  - サービスの概要
  - AWS Mobile SDK
  - モバイルサービスと 2-Tier アーキテクチャ
- データストアの選び方
  - **Amazon Cognito Sync**
  - Amazon DynamoDB
  - Amazon S3
  - Amazon Kinesis
- まとめ

# Amazon Cognito Sync クラウドへのデータ保存と同期

## アプリのデータ、設定、状態などを保存

アプリやデバイスのデータをクラウドに保存でき、ログイン後にマージされる

## クロスデバイス、クロスプラットフォームで同期

ユーザデータや設定をデバイスをまたいで同期

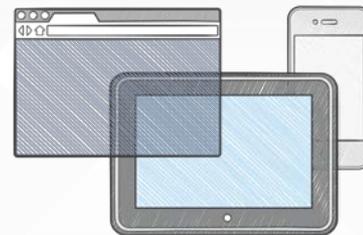
## ユーザあたり 20MB

各データセットは 1MB までの Key/Value

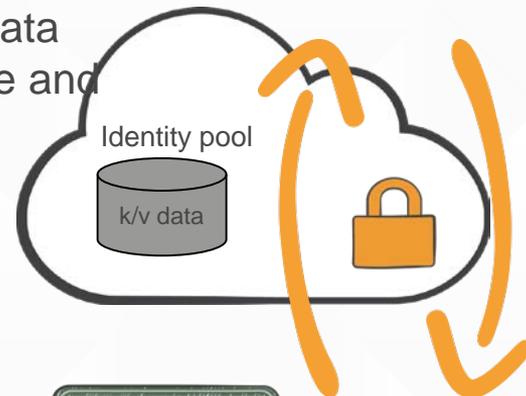
最大 1024 Key まで保存

バイナリデータは Base64 でエンコードして保存

※2015.6.3 現在



User Data  
Storage and  
Sync



Any Platform



iOS/Android/FireOS 

# Amazon Cognito Sync クラウドへのデータ保存と同期

## オフライン動作

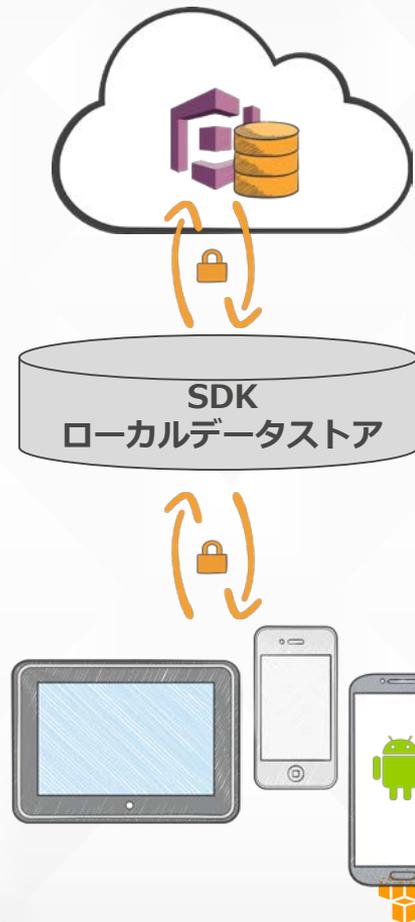
データはまずローカルのデータストレージに保存されるので、電波が不安定もしくは不通であってもシームレスに動作できる

## インテリジェントな同期処理

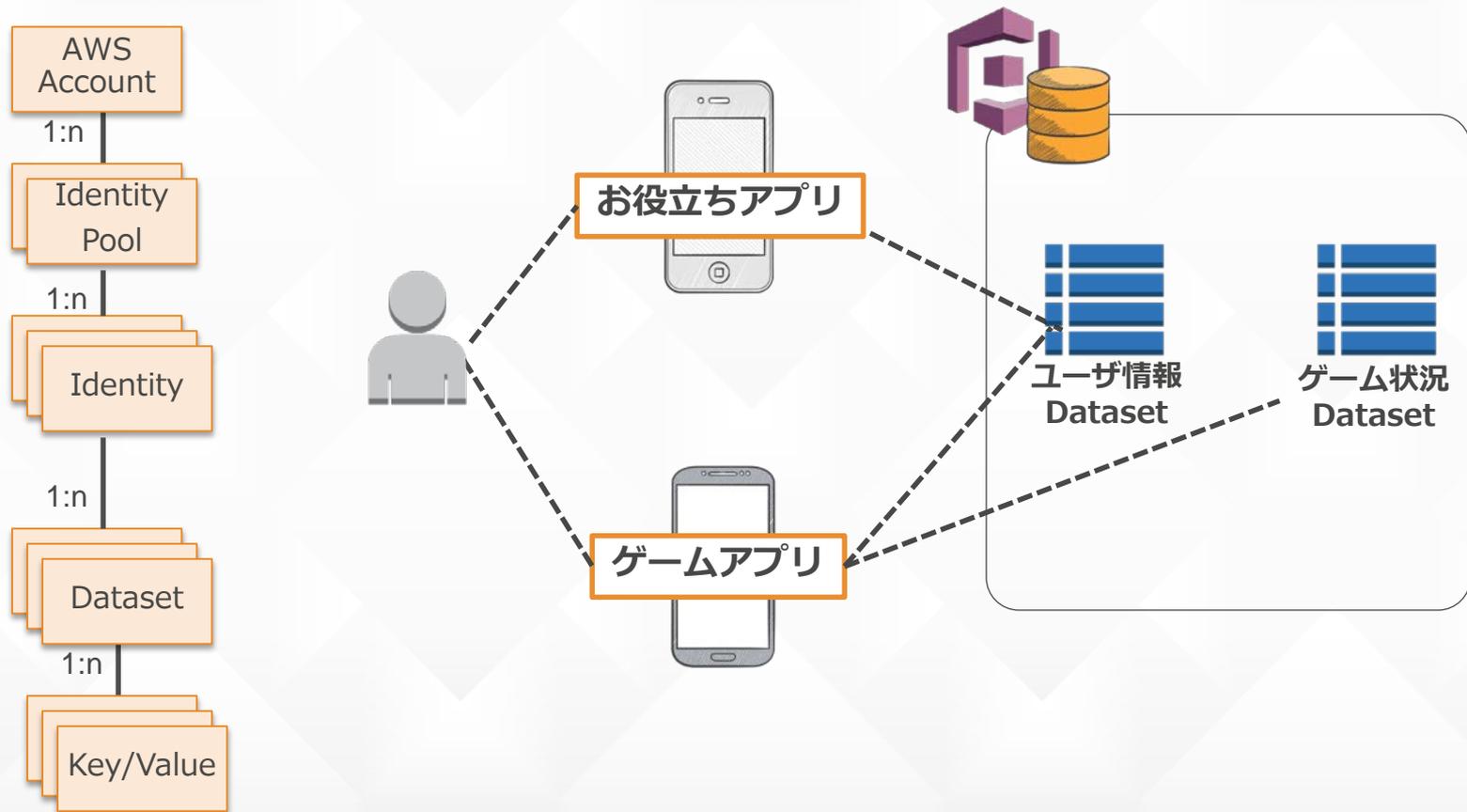
同期メソッドはローカルとクラウドのデータのバージョンを比較して、データをプッシュ/プル

## 柔軟なコンフリクトの解決

同期メソッドは、変更を読み取り後、ローカルの変更をクラウドのデータストアへ書き込む。デフォルトでは、最後の書き込みを有効として保存する。開発者はコンフリクト処理を独自に上書きして実装することもできる。



# Amazon Cognito Sync データモデル – 例

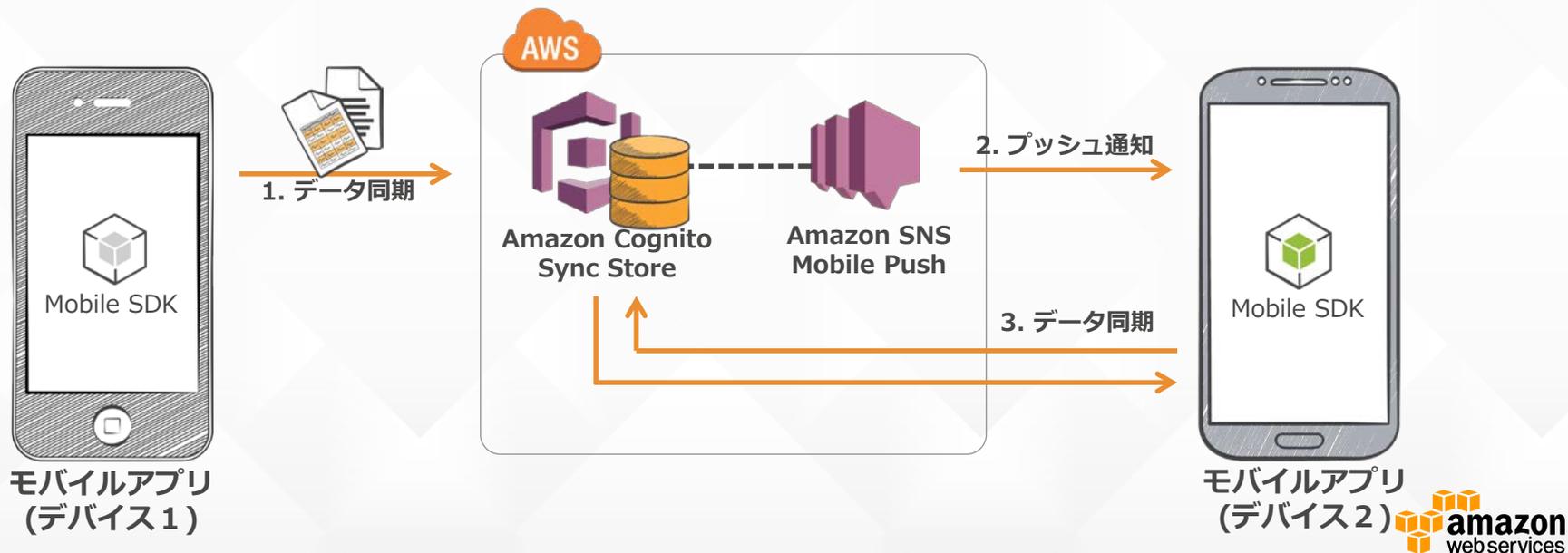


# Amazon Cognito Push Sync

## Amazon SNS Mobile Push との連携

Amazon Cognito のデータストアが更新されたタイミングで、Amazon SNS Mobile Push と連携して、各デバイスにプッシュ通知を送信できる。

プッシュ通知を受け取ったアプリはデータストアの再同期を行うように実装するなど。



# Amazon Cognito Stream

## Amazon Kinesis との連携

Amazon Cognito のデータストアが更新されたタイミングで、Amazon Kinesis ストリームで更新や同期のデータを受け取ることができる。

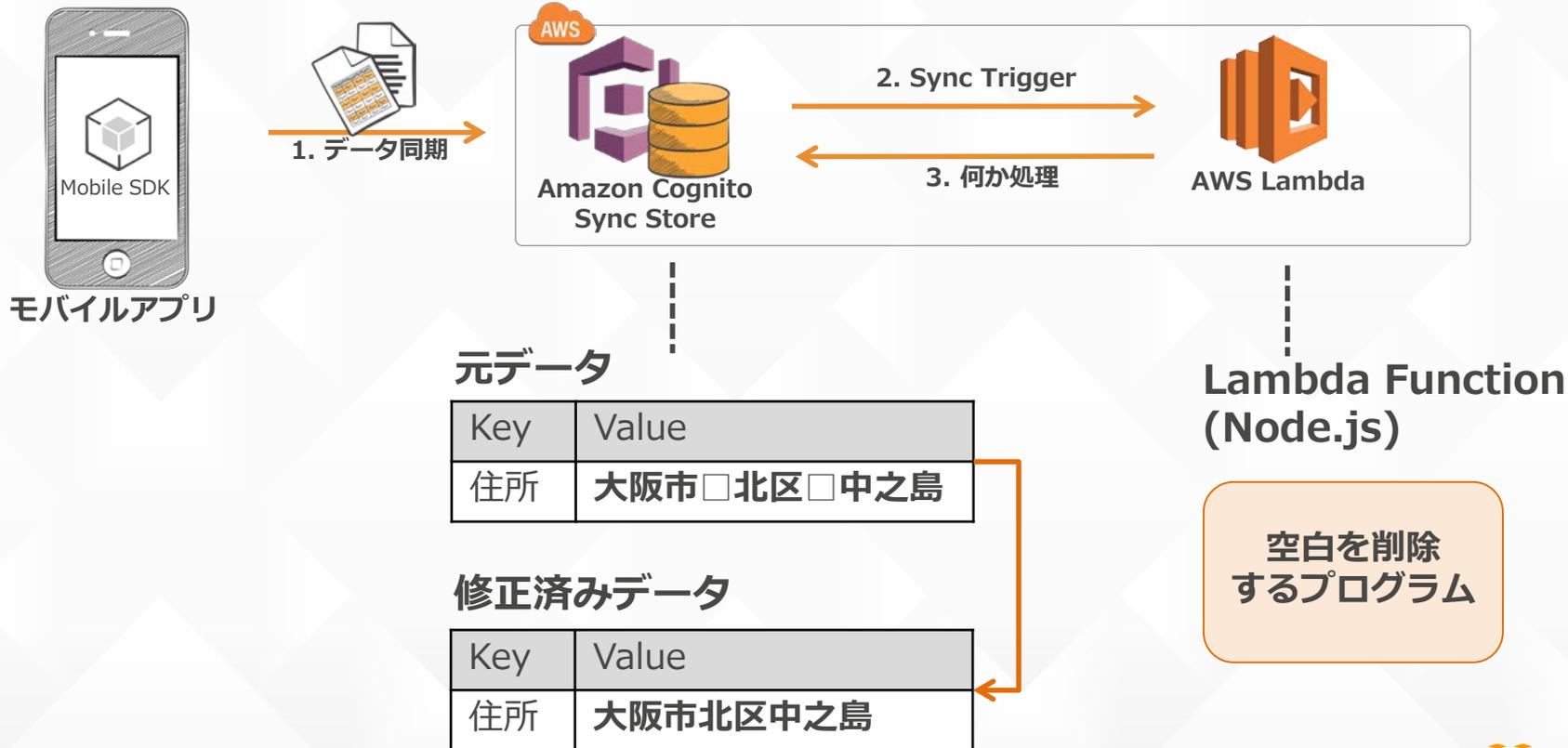


## ストリームの内容

```
{
  "identityPoolId" : "Pool Id"
  "identityId" : "Identity Id "
  "dataSetName" : "Dataset Name"
  "operation" : "(replace|remove)"
  "kinesisSyncRecords" : [
    {
      "key" : "Key",
      "value" : "Value",
      "syncCount" : 1,
      "lastModifiedDate" : 1424801824343,
      "deviceLastModifiedDate" : 1424801824343,
      "op" : "(replace|remove)" }, ...
    ],
  "lastModifiedDate" : 1424801824343,
  "kinesisSyncRecordsURL" : "S3Url",
  "payloadType" : "(S3Url|Inline)",
  "syncCount" : 1
}
```

# Amazon Cognito Events

## AWS Lambda との連携



# Amazon Cognito Sync をアプリに組み込む (Android)

## CognitoSyncManager の初期化

```
cognito = new CognitoSyncManager (context,  
    Regions.US_EAST_1, provider);
```

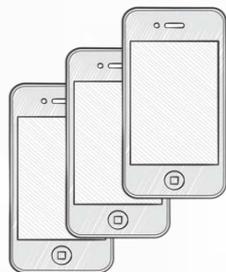
## Dataset の作成、Key Values の追加

```
Dataset dataset =  
    cognito.openOrCreateDataset(datasetName);  
dataset.put(key, value);
```

## 同期の実行

```
dataset.synchronize(new SyncCallback() { .. });
```

# Amazon Cognito Sync の用途



モバイル



Cognito Identity との密な連携  
シンプルなテキストデータの保存



複雑な構造、検索が必要なテキスト  
データの保存



メディア・コンテンツなどのサイズの  
大きいデータの保存



アプリ内で頻繁に発生するユーザー行  
動イベントなど、ストリーミングデー  
タの保存

# アジェンダ

## Agenda

- AWS Mobile サービスの紹介
  - サービスの概要
  - AWS Mobile SDK
  - モバイルサービスと 2-Tier アーキテクチャ
- データストアの選び方
  - Amazon Cognito Sync
  - **Amazon DynamoDB**
  - Amazon S3
  - Amazon Kinesis
- まとめ

# Amazon DynamoDB

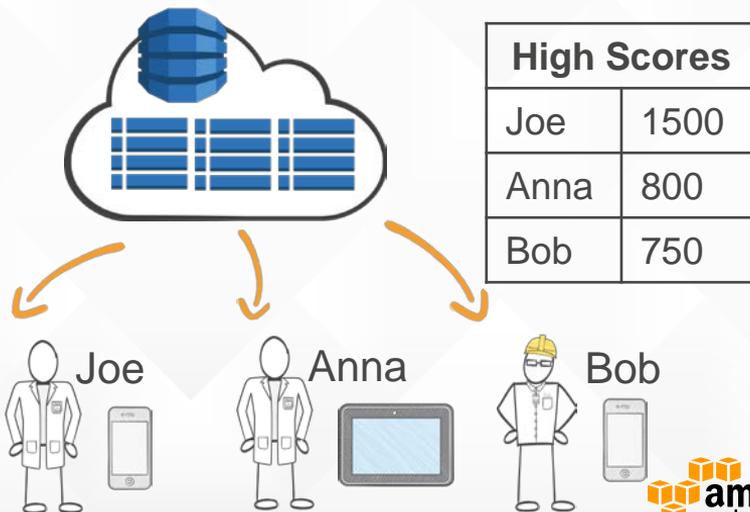
## Amazon DynamoDB とは

高い信頼性、スケーラビリティ、低レイテンシで安定した性能を兼ね備えた NoSQL データベースサービス



## Amazon DynamoDB Connector : Object Mapper

- クライアント側のクラスが Amazon DynamoDB テーブルにマッピング
- オブジェクトをテーブルに変換することも、その逆も必要ない



# DynamoDB テーブル

たとえば、本の検索アプリの DynamoDB テーブルを作成する。



AWS



## Amazon DynamoDB



### Table: Books

isbn (HashKey)	title	hardCover
22-22222	我輩は猫である	Yes
43-43234	こころ	No
55-12345	三四郎	Yes

# マッピングクラスを定義

Table: Books

isbn (HashKey)	title	hardCover
22-22222	我輩は猫である	Yes
43-43234	こころ	No
55-12345	三四郎	Yes

```
@DynamoDBTable(tableName = "Books")  
public static class Book {
```

```
    private String isbn;  
    private String title;
```

```
    ...
```

```
@DynamoDBHashKey(attributeName = "isbn")  
public String getIsbn() {  
    return isbn;  
}
```

```
@DynamoDBAttribute(attributeName="title")  
public String getTitle() {  
    return title;  
}
```

```
    ...
```

# データの操作 (Android)

## DynamoDB Client & Object Mapper の生成

```
AmazonDynamoDBClient client =  
    new AmazonDynamoDBClient(cognitoProvider);  
DynamoDBMapper mapper = new DynamoDBMapper(client);
```

## 1件取得

```
Book book = mapper.load(Book.class, "1234567");
```

## 登録／更新

```
book.setIsbn("1234567");  
book.setTitle("Great Expectations");  
mapper.save(book);
```

## 削除

```
mapper.delete(book);
```

# 全件取得・検索 (Android)

## 全件取得

```
PaginatedScanList<Book> result =  
    mapper.scan(Book.class, scanExpression);
```

## 検索

```
Book bookToFind = new Book();  
bookToFind.setAuthor("Charles Dickens");  
  
String queryString = "Great";  
  
Condition rangeKeyCondition = new Condition()  
    .withComparisonOperator(ComparisonOperator.BEGINS_WITH.toString())  
    .withAttributeValueList(new AttributeValue().withS(queryString.toString()));  
  
DynamoDBQueryExpression queryExpression = new DynamoDBQueryExpression()  
    .withHashKeyValues(bookToFind)  
    .withRangeKeyCondition("Title", rangeKeyCondition)  
    .withConsistentRead(false);  
  
PaginatedQueryList<Book> result = mapper.query(Book.class, queryExpression);
```

# Amazon DynamoDB Stream (プレビュー)

## AWS Lambda と連携したり、KCL ワーカーで処理するなど

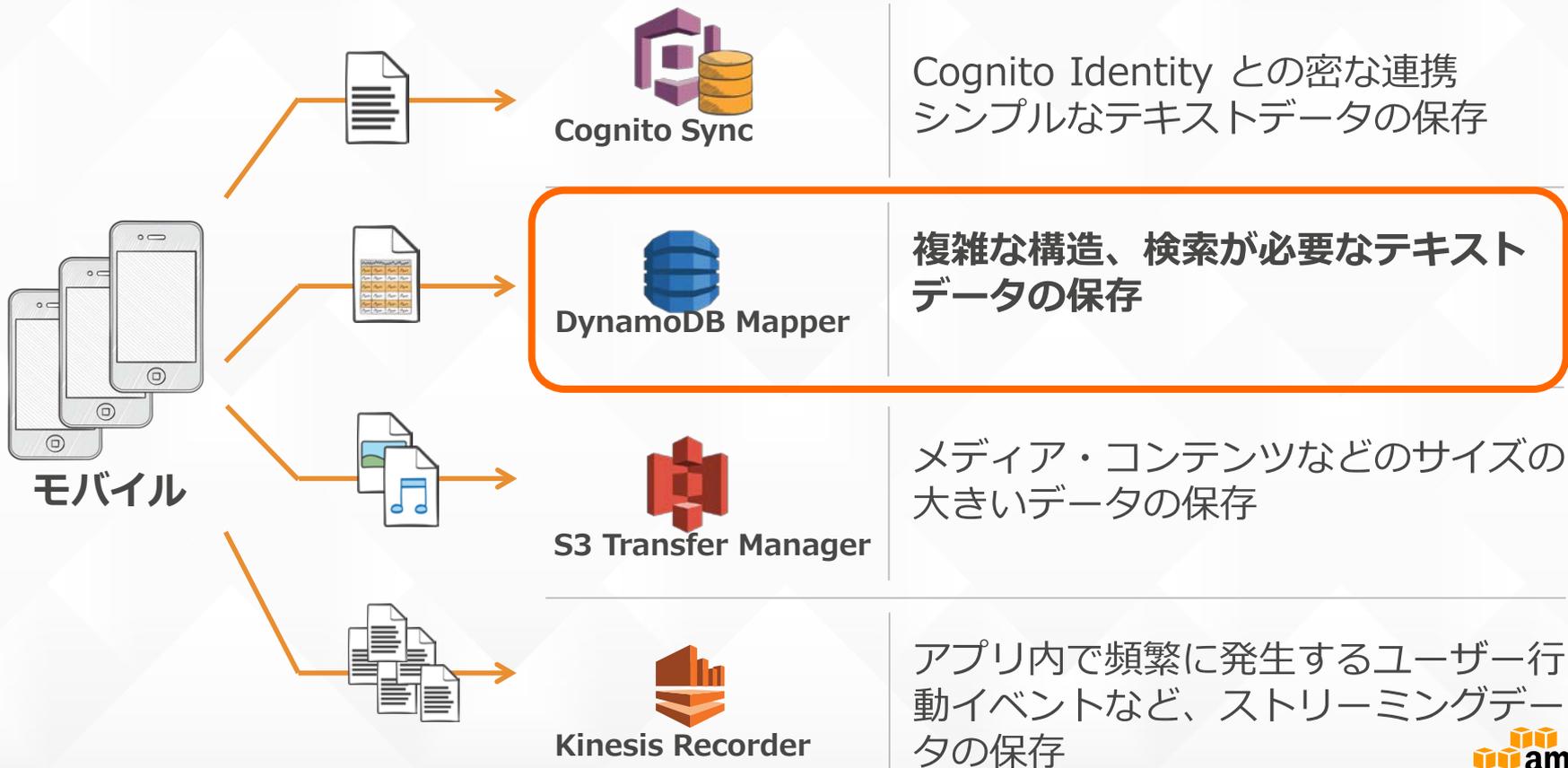
DynamoDBへの書き込みに応じて値チェックをし別テーブルの更新やプッシュ通知を実行するなど、アイディアはさまざま。



▶ プレビュー申し込み

<https://aws.amazon.com/jp/dynamodb/preview/>

# Amazon DynamoDB の用途



# アジェンダ

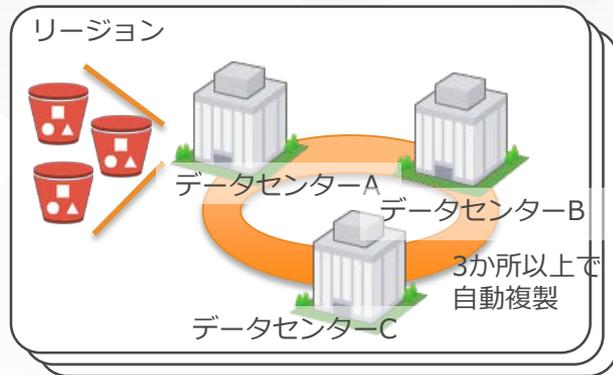
## Agenda

- AWS Mobile サービスの紹介
  - サービスの概要
  - AWS Mobile SDK
  - モバイルサービスと 2-Tier アーキテクチャ
- データストアの選び方
  - Amazon Cognito Sync
  - Amazon DynamoDB
  - **Amazon S3**
  - Amazon Kinesis
- まとめ

# Amazon S3

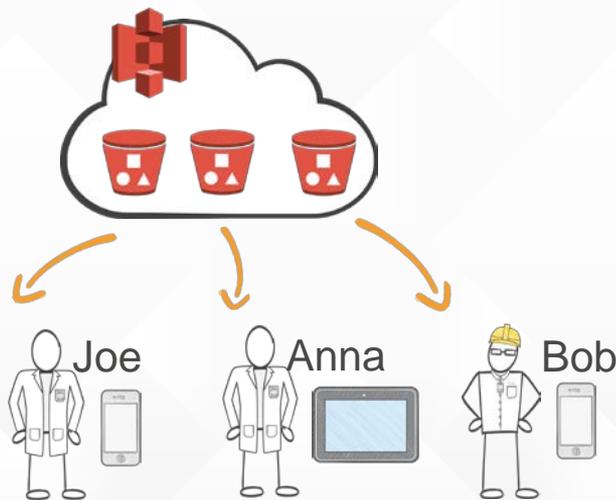
## Amazon S3 とは

安全で耐久性があり拡張性の高い容量無制限の  
マネージドオンラインストレージサービス



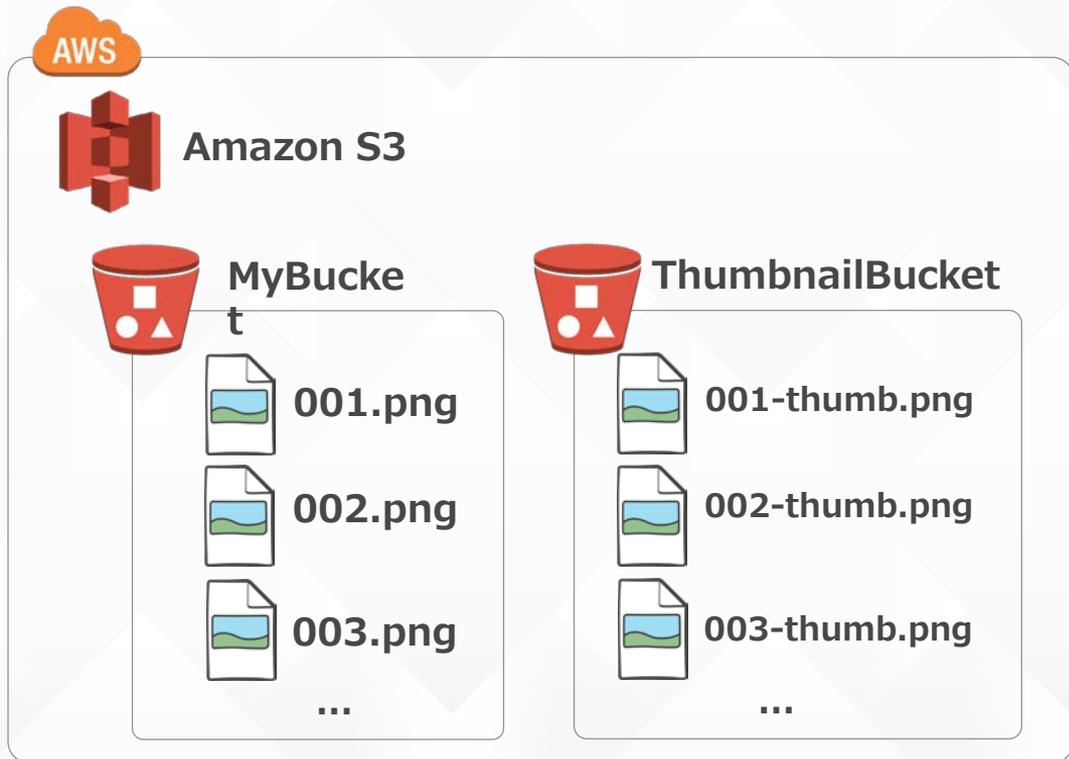
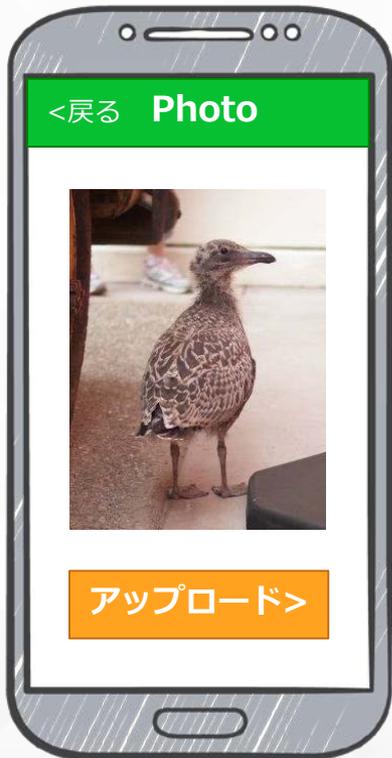
## Amazon S3 Connector: Transfer Manager

- マルチパートアップロード対応
- フォールトトレラントなダウンロード
- バックエンドサーバー不要
- 自動リトライ
- モバイルアプリ/ネットワークに最適化するための  
ポーズ、レジューム、キャンセル関数



# S3 Bucket の作成

たとえば、写真をアップロードするアプリのバケットを作成する。



# オブジェクトの操作 (Android)

## S3 Transfer Manager Client の生成

```
TransferManager transferManager =  
    new TransferManager(cognitoProvider);
```

## ダウンロード

```
Download download =  
    transferManager.download("MyBucket", key, file);
```

## アップロード

```
Upload upload =  
    transferManager.upload("MyBucket", key, file);
```

```
while (!upload.isDone()) {  
    // アップロード中  
}
```

# オブジェクトの操作 (Android)

## 進捗の取得

```
TransferProgress transferred = upload.getProgress();  
transferred.getBytesTransferred();  
transferred.getPercentTransferred();
```

## ポーズ

```
upload.pause();
```

## レジューム

```
transferManager.resumeUpload(upload);
```

## キャンセル

```
upload.abort();  
download.abort();
```

# サムネイル画像の変換

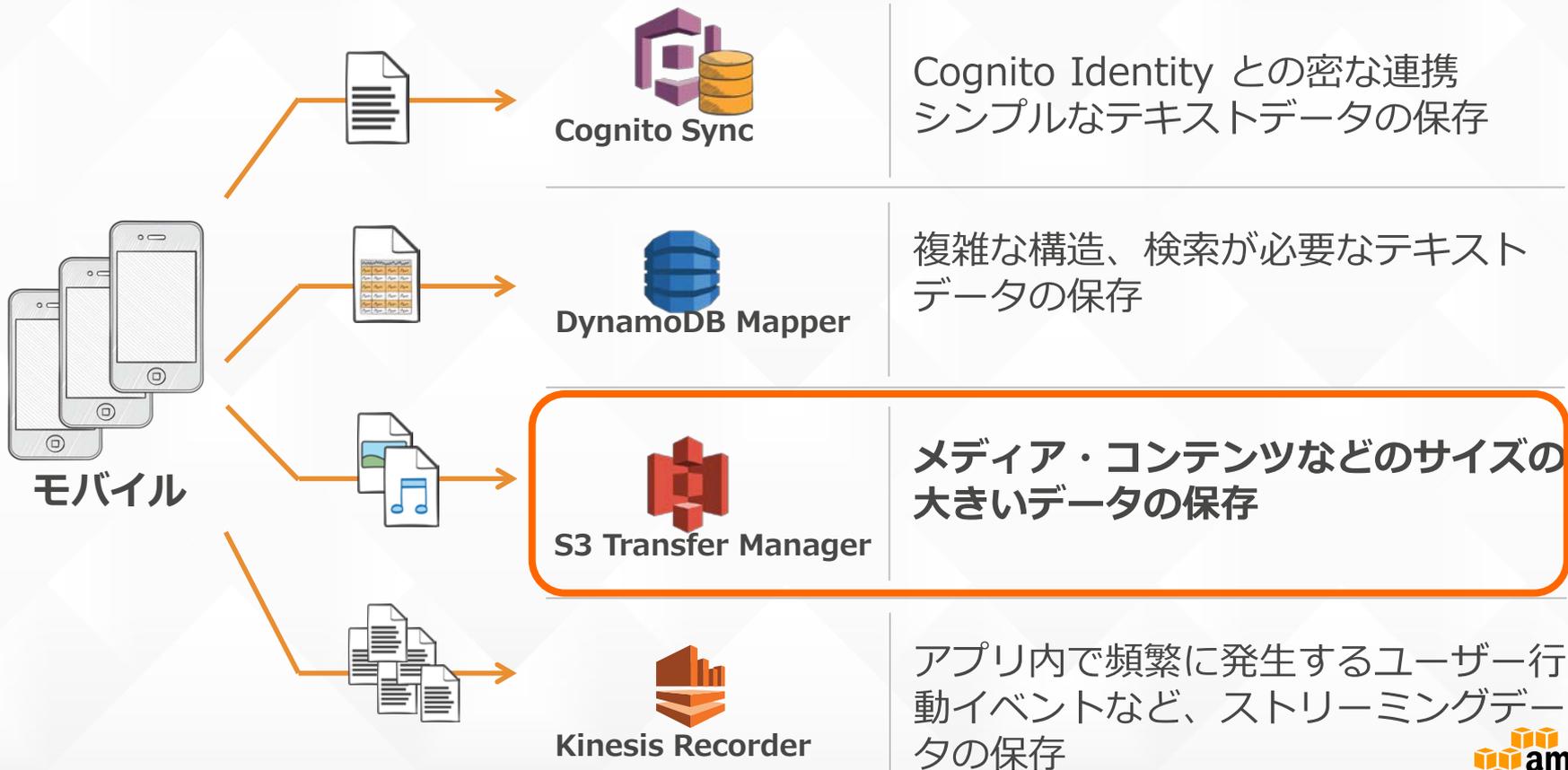
## AWS Lambda と連携

Amazon S3 にアップロードされた画像をリアルタイムに AWS Lambda で変換し、サムネイルを Amazon S3 の別Bucketへ、メタデータは Amazon DynamoDB へ。



# デモ : S3 + DynamoDB + Lambda 画像アップローダー

# Amazon S3 の用途



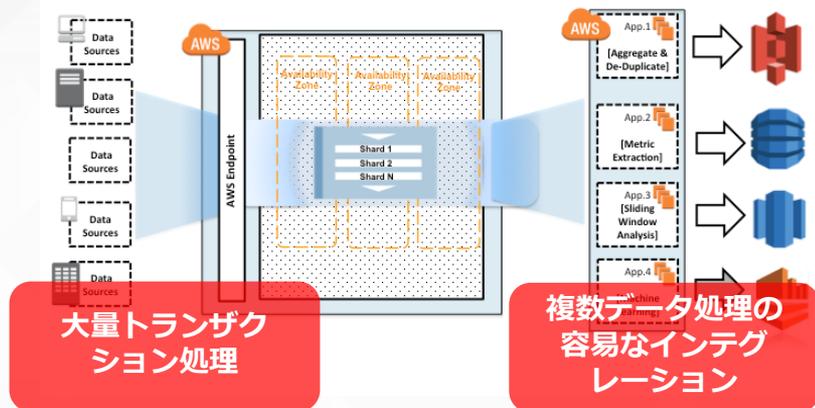
# アジェンダ

- AWS Mobile サービスの紹介
  - サービスの概要
  - AWS Mobile SDK
  - モバイルサービスと 2-Tier アーキテクチャ
- データストアの選び方
  - Amazon Cognito Sync
  - Amazon DynamoDB
  - Amazon S3
  - **Amazon Kinesis**
- まとめ

# Amazon Kinesis

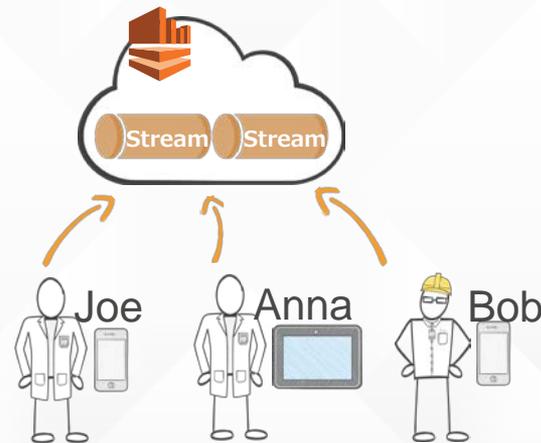
## Amazon Kinesis とは

可用性や拡張性に優れたマネージドリアルタイム大規模ストリーミング処理サービス



## Amazon Kinesis Connector: Kinesis Recorder

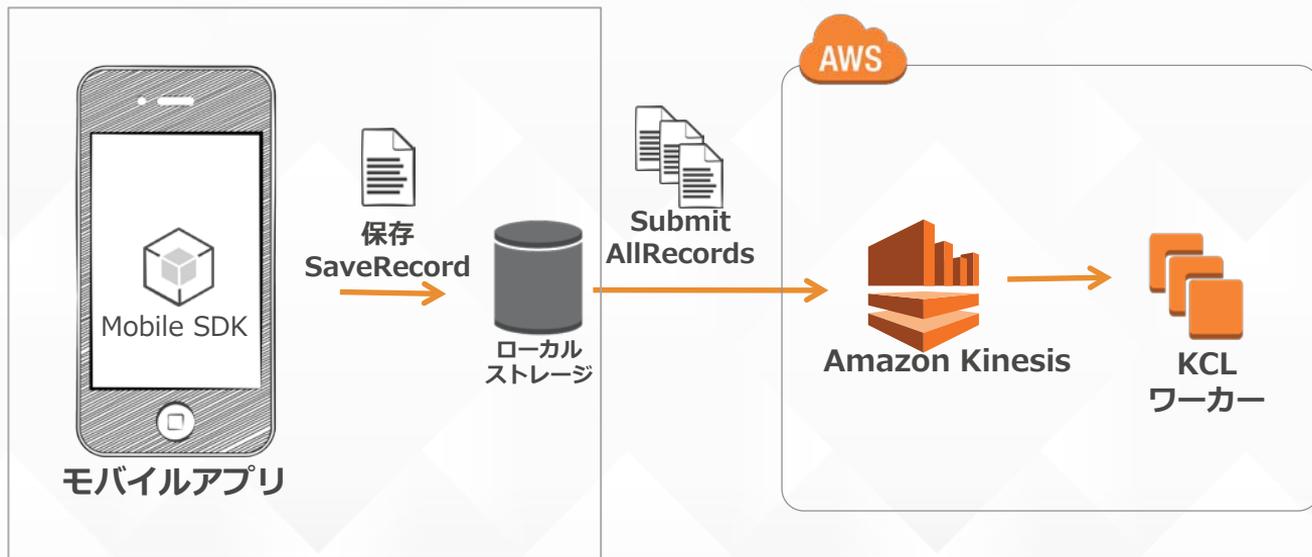
- PutRecord リクエストをローカルストレージに蓄積してから一括送信
- 複数リクエストを一括送信することでバッテリー消費を低減
- オフラインでも動作しデータのロスがない。



# Amazon Kinesis

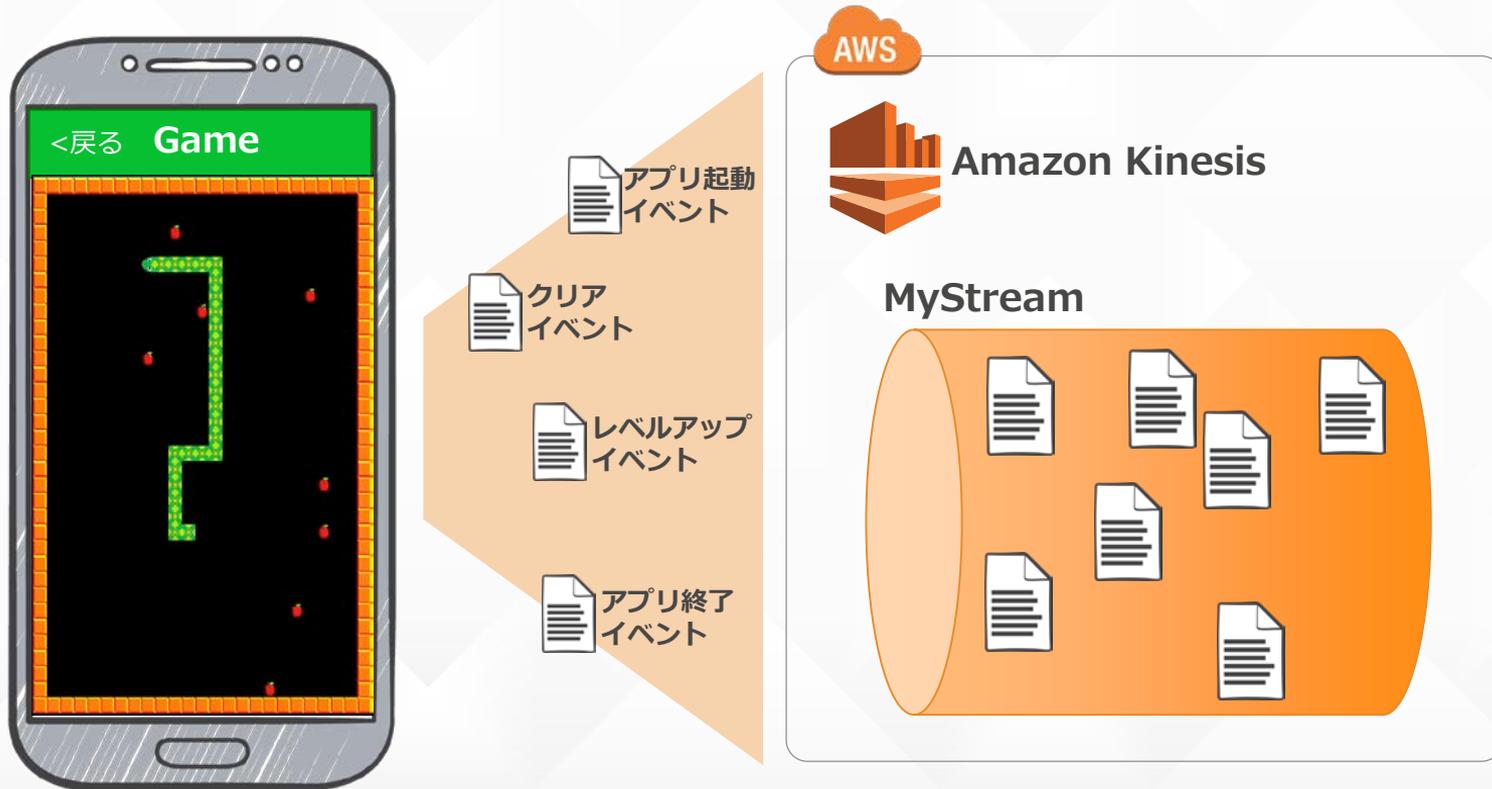
## Amazon Kinesis のフロー

データをローカルストレージに蓄積してから一括送信する。登録されたデータは KCL ワーカーなどで処理する。



# Kinesis Stream の作成

たとえば、ゲームアプリのユーザー行動イベントを収集するための Stream を作成する。



# データの送信 (Android)

## Kinesis Recorder の生成

```
KinesisRecorder recorder = new KinesisRecorder (  
    cognitoProvider,  
    Regions.US_WEST_2,  
    getDir("YOUR_DIRECTORY", 0));
```

## ローカルストレージへ保存

```
recorder.saveRecord("MyData".getBytes(), "MyStream");
```

## 一括送信

```
recorder.submitAllRecords();
```

注意) Kinesis Recorder は同期的なコールを利用しているので、メインスレッドで Kinesis Recorder のメソッドをコールすべきではない。

# ローカルストレージの状態 (Android)

## ストレージの残容量

```
recorder.getDiskByteLimit ();
```

## ストレージの使用量

```
recorder.getDiskBytesUsed ();
```

## 最大ストレージ容量の確認 (デフォルト 8MB)

```
KinesisRecorderConfig config =  
    recorder.getKinesisRecorderConfig ();  
config.getMaxStorageSize ();
```

## 最大ストレージ容量の変更

```
config.withMaxStorageSize (1024 * 1024 * 16L);
```

# ビッグデータ分析

## Amazon Redshift と連携

Amazon Kinesis に登録されたアプリのイベントデータを KCL ワーカーなどで処理し、Amazon Redshift に連携してデータ分析する。



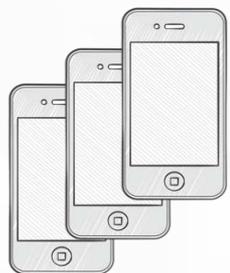
# もちろん AWS Lambda と連携

## AWS Lambda と連携

Amazon Kinesis に登録されたアプリのイベントデータをリアルタイムに AWS Lambda で処理して集計やプッシュ通知を実行する。



# Amazon Kinesis の用途

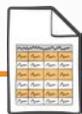


モバイル



Cognito Sync

Cognito Identity との密な連携  
シンプルなテキストデータの保存



DynamoDB Mapper

複雑な構造、検索が必要なテキスト  
データの保存



S3 Transfer Manager

メディア・コンテンツなどのサイズの  
大きいデータの保存



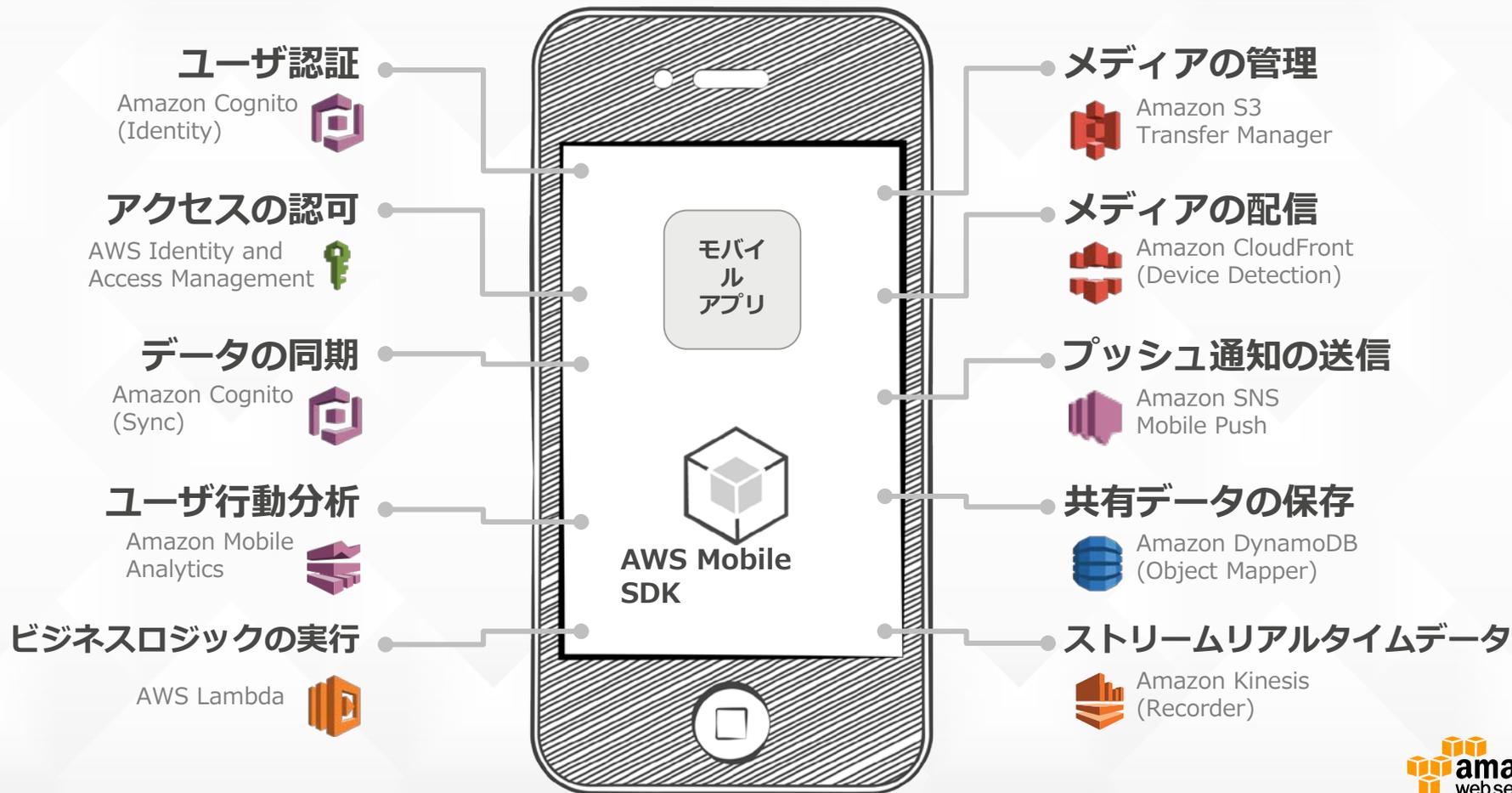
Kinesis Recorder

アプリ内で頻繁に発生するユーザー行  
動イベントなど、ストリーミングデー  
タの保存

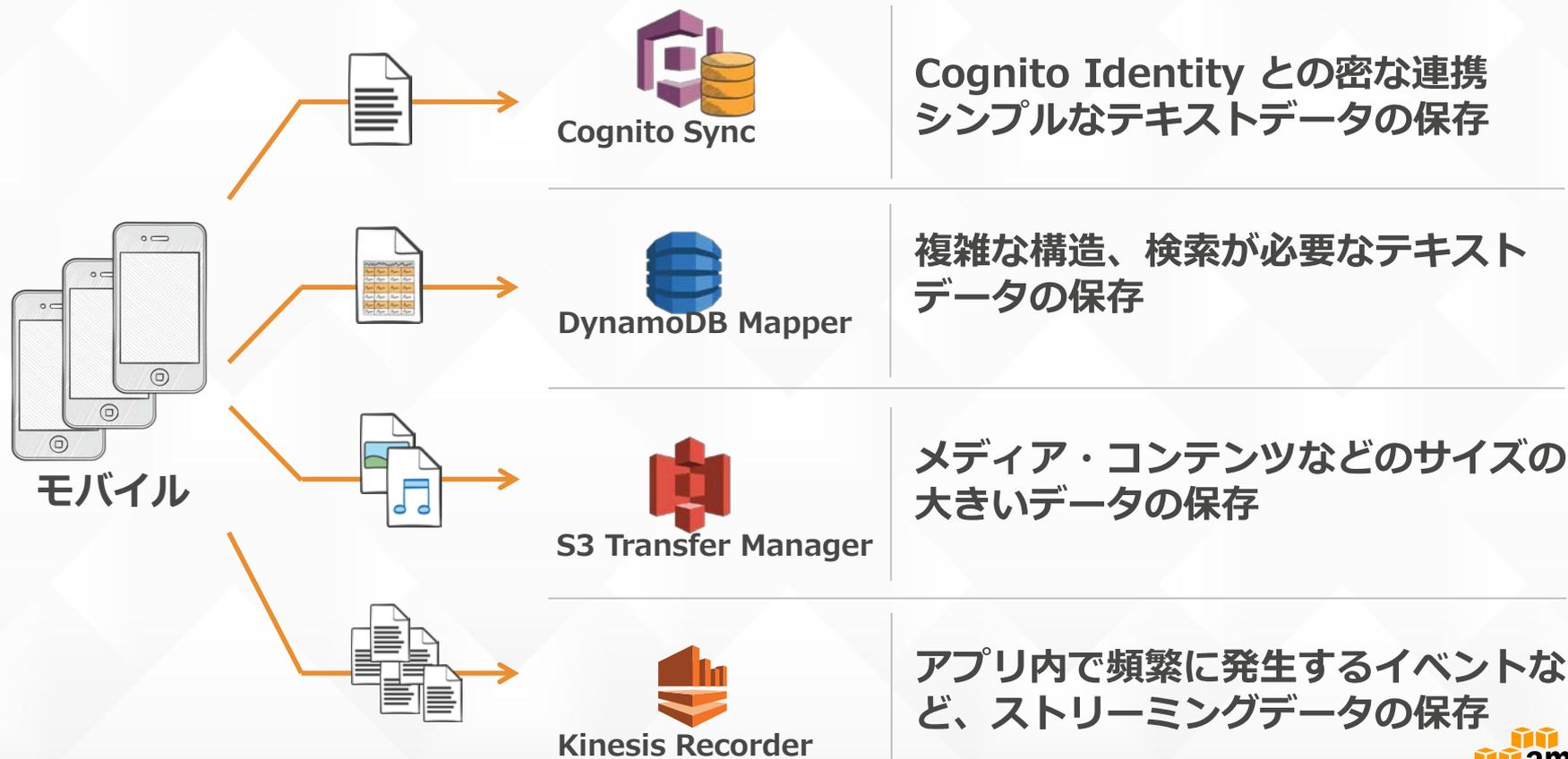
# アジェンダ

- AWS Mobile サービスの紹介
  - サービスの概要
  - AWS Mobile SDK
  - モバイルサービスと 2-Tier アーキテクチャ
- データストアの選び方
  - Amazon Cognito Sync
  - Amazon DynamoDB
  - Amazon S3
  - Amazon Kinesis
- **まとめ**

# まとめ：モバイルアプリの課題を AWS サービスで解決



# まとめ：用途に合わせてデータストアを利用



# まとめ：AWS を活用して本来の業務へ集中！！

## モバイルアプリのコード

ユーザID管理、認証

ユーザデータの同期処理

非同期通信

アクティブデバイスの分析

ユーザ行動の分析

コンバージョンの分析

プッシュ通知

イベントトリガー

プラットフォームごとのはっきりしない仕様

データチェックと変換

ファイルやメディアのストレージ

共有データベースのストレージ

データコレクション

その他さまざま…

**AWS Cloud インフラストラクチャ**

## 開発者が直面する課題

- ✓ 複数のプラットフォーム
- ✓ スケーラビリティの確保
- ✓ 高コストな管理や運用
- ✓ ユーザ体験の阻害
- ✓ ユーザIDの管理



# まとめ：AWS を活用して本来の業務へ集中！！

モバイルアプリのコード  
ユーザID管理、認証  
ユーザデータの同期処理  
非同期通信  
アクティブデバイスの分析

開発者が直面する課題

## AWS を活用して アプリを差別化

プラットフォーム

チーム  
の確保  
運用

共有データベースのストレージ  
データコレクション  
その他さまざま…

AWS Cloud インフラストラクチャ



